

独立行政法人水産総合研究センター
平成 25 年度 契約監視委員会（第 2 回）議事概要

1. 日 時 平成 25 年 10 月 22 日（火） 14：00～16：40

2. 場 所 クイーンズタワー B 棟 7 階 D 会議室（神奈川県横浜市西区みなとみらい 2-3-3）

3. 出席者

委員長	細井 和昭	公認会計士
委 員	蒲池 孝一	公認会計士
委 員	鈴木 満	弁護士
委 員	並木 裕之	(株) 神奈川新聞社 常務取締役
委 員	朝比奈 清	(独) 水産総合研究センター 監事
委 員	杉田 賢一	(独) 水産総合研究センター 監事
		(独) 水産総合研究センター事務局

4. 議題

- ①平成 25 年度第 1 四半期の契約実績
- ②平成 25 年度第 1 四半期の契約の点検結果
- ③その他

5. 議事概要

・ 議題①平成 25 年度第 1 四半期の契約実績

契約実績、競争性のない随意契約及び一者応札・応募の類型別内訳、類型別の平均応札者数及び平均落札率などについて説明した。

・ 議題②平成 25 年度第 1 四半期の契約の点検結果

競争性のない随意契約案件及び一者応札・一者応募案件の取組結果について説明し、審議を行った。※抽出審議案件については 2 ページ目以降に記載

・ 議題③その他

入札等に関するアンケートについては回収率 46.2%と前回とほぼ同じで、意見の記載は少なかったが、納期や履行期間の確保など要望が多かった項目は留意して、その他の項目も対応可能な項目は業務に支障のない範囲で対応することを報告した。

契約監視委員会の委員は平成 26 年 1 月末で任期満了となるに伴い、改選等については農水省が示す選定方針が決まり次第、再任を含めた任命手続きを進めることを報告した。

「議題②平成 25 年度第 1 四半期の契約の点検結果」について、抽出審議案件 10 件の質疑応答は以下のとおり

(複数応札)

【94】水産総合研究センター広報誌等制作・配布業務（契約課）

○総合評価落札方式については、価格点と技術点との配点バランス、審査項目の内容などについても本委員会で審議する必要があるので、技術点の審査内容がわかるような資料を提出してほしい。

○従来から同一業者が落札しているが、審査対象となるサンプル紙面の作成は、センター広報紙を熟知している者が優位にならないよう審査内容を検討する必要がある。

○価格点と技術点の配分のウェイトも含め検証する必要がある、デザイン重視ならば、コンペ方式にする、複数年契約にする、印刷・配布と分離して発注するなど、改善の余地があるのではないか。

→総合評価落札方式の案件については、今後は審査内容がわかるよう御指摘の点も踏まえ、今後どのような改善が可能か検証していきたい。

(一者応札・一者応募)

【81、89】クロマグロ輸送業務（西海区水産研究所）

○恒常的な業務であれば競争性を確保するために入札資格の緩和などを検討すべきだが、本業務は毎年発生するものではなく、一過性の業務であることを考えれば、契約内容について特段の問題はない。

(2か年連続一者応札・一者応募)

【45】労働者派遣業務（中央水産研究所）

○求める人材の市場が極めて狭いことから、1者入札になったのもやむを得ない。

予定価格の算定に前回の落札率を使用しているが、この方式だと年々予定価格が低くなっていき、適切な価格を下回るのではとの懸念がある。

(一者応札・一者応募)

【38】中央水産研究所横浜庁舎運送業務（中央水産研究所）

○食品会社の運送部門など、クール便（冷凍・冷蔵）のみ運送業務を請け負う業者もあるので、クール便を別契約とする可能性を検証すべきである。

→クール便を別契約とすることが可能か、コストと利便性を勘案しつつ検討したい。

(複数応札)

【51】（試薬）遺伝子解析用試薬 外6点（中央水産研究所）

○見積業者4社はすべて同じメーカーの試薬の日本代理店だが、見積価格の低い値と高

い値で約2割という大きな価格差があるのはなぜか。予定価格の算定にあたっては同じ試薬を発注している他の研究機関の契約価格も調査すべきである。

→同じ日本代理店でなぜ見積価格に差があったか確認するとともに、他機関における契約価格を調査し、より適切な予定価格を設定できるよう工夫していきたい。

(一者応札・一者応募)

【103】増養殖研究所南伊豆庁舎海水取水管更新工事（契約課）

○地元のイセエビ漁に影響が出ないように、漁期前に海中工事を終了させるため、全体の施設整備工事を分離発注したことは理解できる。

○潜水作業など専門性の高い作業が含まれている工事の場合には、分離発注した方が建築元請業者を介さず、専門業者が単体で入札参加できるので価格が下がるなどもあり、元請業者への一括発注より良い点もある。これらも踏まえた上で今後も発注方法を検討していただきたい。

→御指摘を踏まえ、個々の工事の事情も勘案しながら発注方法を工夫していきたい。

(2か年連続一者応札・一者応募)

【153】砕氷（開発調査センター）

○釧路市漁協と他の業者との市況価格を見ると、そもそも価格差が大きく、本結果となったのもやむを得ない。

(一者応札・一者応募及び不落随契)

【161】ワムシ用餌料（冷蔵濃縮ナンノクロロプシス）（西海区水産研究所）

○入札参加しなかった業者によれば夏季の対応が困難とのことであり、センターからの説明にあったとおり、夏季は別発注するなど、この点に配慮した対応を進めてもらいたい。

(2か年連続一者応札・一者応募)

【1】北海道区水産研究所自家用電気工作物保安管理業務（北海道区水産研究所）

○管理対象の事業所16カ所には僻地も含まれているため、北海道全体を対象として機器故障時の復旧作業などの緊急対応が可能な業者が限られるのであれば、業者ごとに対応できない場所を把握するとともに、対象事業所をいくつかの地区に分けて分離発注するなど発注方法の工夫が必要である。

→御指摘を踏まえ事業者ごとに対応可能な業者を調査し、分割契約の可能性も含め発注方法を工夫していきたい。